



鑑賞
ガイド

時代を Birth of the Real 1989-2010

日本で生まれた美術表現
MAKING ART IN JAPAN



「日本で生まれた」とは？

この展覧会で紹介する作品をつくったアーティストは、日本に住む日本人とは限りません。日本人が海外でつくった作品、海外の人が日本に来て、または日本に刺激を受けてつくった作品など、様々な意味で「日本で生まれた」美術表現を紹介します。

1989-2010年ってどんな時代？

「平成」が始まったころの日本では、海外の人や情報が行き来が盛んになりました。それにより、日本の文化や人々の考え方は大きく変化してきます。そんな時代に、アーティストたちは、新しいアイデアで、作品をつくることに挑戦したのです。

2025年9月3日(水) → 12月8日(月)
会場：国立新美術館 | 企画展示室1E 休館日：毎週火曜日

「リアル」とは？

3つの「リアル」は、「こういう視点で作品をみると、発見があるかも」という、展覧会をつくった人たちからの提案です。

戦争って、
もう終わった
ことなの？



下道基行
SHITAMICHI Motoyuki

人々が腰かけているのは、よく見ると、地面にねかされた鳥居です。昔、日本が他国を植民地としていたころ、人々の生活習慣や宗教を日本と同じにするために、各地に鳥居が建てられました。植民地支配が終わっても、鳥居はそのままにされています。時がたち、今ではおだやかで平和な風景となりましたが、そこには戦争のあとがとけ込んでいます。それが私たちが暮らしている世界なのだと、この写真が教えてくれているようです。

下道基行 (torii) より《台中、台湾》2006-2012年 / 国立国際美術館蔵

座っている人たちは、
なにを考えているでしょうか？書いてみよう！

書くときはえんぴつを使おう

昔起きた戦争や事故は、
今生きている私たちには関係ないこと？



ヤノベケンジ
YANOBE Kenji

これは、かつて起きた原子力発電所の事故によって立ち入り禁止となった地域の、保育園で撮影した写真です。この作品の作者は、世の中で起きた大きな災害や事件の、ゲームや映画などの想像の世界をも超えてしまうような悲惨さに大きなショックを受けました。この状況を自分の目でしっかりと見て、現実としてとらえるために、自分でつくった黄色い防護服を着て、この場所に足を運んだのです。おそらくここにいた子どもたちが遊んでいた、こわれた人形を前に、彼は何を思ったのでしょうか。

ヤノベケンジ《アトムスーツプロジェクト：保育園1・チェルノブイリ》1997年 / 広島市現代美術館蔵
© Kenji Yanobe. Courtesy of the artist.

この防護服を着た人は、なにを考えているでしょうか？書いてみよう！

Curatorial Lens 1:

過去という亡霊
The Past is a Phantom



“日本っぽい”ってどういうこと?

お風呂に入っている子ども、誕生日を祝う家族、新幹線の前でポーズする人などなど…これらは、たくさんの日本人が撮った写真を、アーティストが集めて並べたものです。ちがう人が撮ったのに、写っている人のピースサインや、花見と思われる風景など、似ていると感じるところがありませんか。こうしてたくさん並べてみると、写真を撮った人たちに共通する“日本人っぽさ”が見えてくる気がします。

フィオナ・タン《人々の声 東京》2007年 / ヘルナール・ビュフェ美術館蔵
© Fiona Tan. Courtesy Wako Works of Art, Tokyo.

あなたが日本っぽいと思った写真はどれ?
選んだ写真を描いてみよう!



イ・ブル
LEE Bul

“私らしさ”は、性別や見た目で決まるの?

あなたは、彼女が「なに」に見える?書いてみよう!

奇妙な着ぐるみをきた人が、動きづらそうに、転んだりしながら、街を歩いています。周りの人からは、注目されたり、さげられたり…。街中でわざわざこのヘンテコな着ぐるみを身にまとい、“ふつうの女性”から、なにが得体のしれないものの姿になって歩く彼女は、「私ってどう見える?私って一体何だと思う?」と、周囲の人々に問いかけているようにも見えます。

イ・ブル
《受難への遺囑—私はピクニックをしている子犬だと思う?》
1990年 / 作家蔵
© Lee Bul. Courtesy of the artist.

考えよう
レンズ4を

あなたは、この^{てんらんかい}展覧会をみて、どんなことを考えましたか？

この展覧会をみた他のひとと話をするとしたら、どんな話をしようと思いますか？

戦争って、もう終わった
ことなの？

みんなでやってみて
わかることは？

私らしさってどういうこと？

………他にはどんなことが話せそうですか？

書いてみよう！

それがあなたのオリジナルの **レンズ4** になります！

Curatorial Lens 4:

あなたの
Your Lens

作品をみるときのルール

- 👉 さわらない
- 👉 ゆっくり歩こう
- 🗣️ 小さな声で話そう
- ✍️ かくときはえんぴつを使おう

展覧会

時代のプリズム:日本で生まれた美術表現 1989-2010

会期 2025年9月3日(水)~2025年12月8日(月)

休館日 毎週火曜日 ※ただし9月23日(火・祝)は開館、9月24日(水)は休館

開館時間 10:00~18:00 ※毎週金・土曜日は20:00まで
※入場は閉館の30分前まで

会場 国立新美術館 企画展示室1E

主催 国立新美術館、M+、独立行政法人日本芸術文化振興会、文化庁
共催 日本経済新聞社

ウェブサイト

https://www.nact.jp/exhibition_special/2025/JCAW/

時代のプリズム:日本で生まれた美術表現
1989-2010 鑑賞ガイド

編集 国立新美術館 教育普及室

執筆 宮下咲

デザイン 大岡寛典事務所+平松るい

発行 国立新美術館

発行日 2025年9月3日

© 2025 国立新美術館

新 THE NATIONAL
ART CENTER
TOKYO
国立新美術館

表紙の作品:

(左) 棒昇《エステティック・ポリューション》(部分) 1990年/金沢21世紀美術館蔵
撮影:斎城卓 画像提供:金沢21世紀美術館 © Tsubaki Noboru
(右) フィオナ・タン《人々の声 東京》2007年/ベルナルド・ビュフェ美術館蔵
© Fiona Tan. Courtesy Wako Works of Art, Tokyo.